

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

生成AIを活用して未来の社会を創造する

② 中長期の経営戦略

1. 生成AI技術の事業中核化

UXDとデジタル技術のノウハウに生成AI技術を加え、顧客企業のDXとデジタルマーケティングを支援

3. NTTデータとの協業強化

親会社NTTデータとOpenAIの業務提携を活かし、高度なシステム開発で競争優位性を確保

2. オウンドメディア領域での差別化

D2C時代のオウンドメディア領域を中心に、マルチチャネル化でWebからアプリなど様々なデバイスに対応

4. 内製化と生産効率化

社内生産活動に生成AI技術を活用し、費用圧縮と外部依頼領域の内製化を推進

③ 対処すべき課題

① 人材の確保と育成

- ・ デジタル業界の高い人材流動性への対策
- ・ DX投資需要の高まりに伴う優秀人材獲得の困難化
- ・ 採用チャネルの多様化と戦略的な人材育成

② サービス領域の拡大

- ・ オウンドメディア内のサービス領域拡大
- ・ Webからアプリなど様々なデバイスへの対応
- ・ デジタル・リアルを問わないマルチチャネル化の推進

③ 生成AI技術の利活用推進

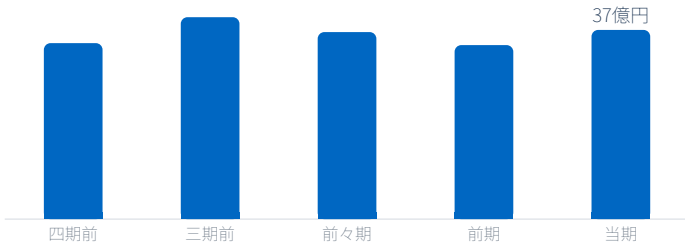
- ・ サービス設計・実装・運用各フェーズでの生成AI導入
- ・ 社内推進部署による高度な活用ノウハウの蓄積
- ・ 外部との連携・共創による技術活用の加速

面接で使えるポイント

- ・ 生成AI技術をUXDと組み合わせた独自ソリューションで、NTTデータグループの強みを活かす事業展開
- ・ オウンドメディア領域でのマルチチャネル化により、デジタルとリアルを問わない顧客体験を実現
- ・ デジタル人材の育成と多様な職場環境づくりで、成長産業での人材確保を重視する姿勢

証券コード 3622

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
67点 / 100点要するに
企業や行政を主要顧客とするデジタルトランスフォーメーション（DX）支援企業主力事業・セグメント
・情報・通信業（セグメント未開示）強み・特徴（公開データから）
・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 45.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
595万円

情報・通信業内 418位/592社

平均年齢
39.9歳

情報・通信業内 196位/593社

平均勤続
7.9年

情報・通信業内 211位/593社

女性管理職
37.0%

情報・通信業内 26位/373社

男性育休
100.0%

情報・通信業内 23位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: ネットイヤーグループ(株)【3622】：決算情報

